

😊自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

第92号
2020.APR



イラスト：ヒビノケイコさん

講演

ソーレまつり2020記念講演会
「絶対絶命は打ち出の小槌」

特集

家事・ケアワークを考える

いろいろ聞いCHAO(ちゃおっ)！「よそんく(国)」どうなっちゃう？

詳しくは 高知 ソーレ 検索
HP <http://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Face Book

絶対絶命 // は 打ち出の小槌

アナウンサーを選択したきっかけ

私は1972年に父親の駐在先であるオーストラリアのパースで生まれました。その時はまだ白豪主義の時代で、アジア系の人は白人よりも劣っていると考える人がいましたが、翌年からは多文化政策をとり、世界中から来た人と対等に互いを尊重し仲良く暮らそう、と変わっています。

4歳で日本に来て、学生時代は日本で過ごしてきたわけですが、私が就職活動をしていた1993年は、女性が長く働くことはまだ当たり前ではなく、働いたとしても2、3年したら寿退社することが幸せだと言われていた頃でした。

その頃に経験した初めての失恋がものすごく悲しくて、その悲しみの理由が何なのかと自己分析した結果、最大の理由は銀行員の妻の座を逃したことであったと気づきました。付き合っていた人は銀行に就職が決まっていたんです。そこで、男性を肩書きではなく「その人の魂が好き」という理由で選ぶためにどうすればいいのかを悩んだ結果、自分の得意な仕事で男性と同じ給料をもらい働き続けることで、お金のことを期待せず一番好きな人と結婚ができると考えつきました。当時、男女雇用機会均等法が施行され約7年が経過していたこともあり、玉の興志向をやめて自分が働こう、と180度考えが変わったわけです。今もそうですが、当時の日本は目に見える男女差別は少なくとも、まだ女性が不利益な立場に置かれることが多かったため、経済的な自立は狭き門でした。そこでなるべく自分が受け取りやすい仕事とを考えて筆記試験よりも実技と面接審査が重視されるアナウンサーを目指しました。

いくつもあったジェンダーの壁

かくして、男性と同じ待遇の終身雇用の正社員の座を手に入れた私は、「これでどんな人とも結婚できる。男性と対等だから、女のくせになどと言われることもない」と、期待に胸を膨らませて入社したわけです。

そんなある時、お天気コーナーの最後にコメントを言う時間をもらいました。夏の終わりだったため季節感を考え、「セミが道路に落ちて死んでいると思って、近づくと急に飛んだりするので気をつけてください」とコメントした

ら、ディレクターに「新人女子アナらしくない。もっと女子っぽくかわいいコメント言えないの?」と、頭ごなしに怒られて、とても腹が立ちました。誰が新人女子アナらしさを求めているのか?これは私が生まれて初めてぶつかったジェンダーの壁です。

ジェンダーは、社会の中で「男はこういうもの、女はこういうもの」「男はこうであれ、女はこうであれ」と求められるもので、それによって制度が作られたり、あるいは制度には書かれなくても不文律の規範になっています。この時、私も初めて若い女子というのはこうあるべきだという枠にはめられたわけです。

ある時は、深夜番組で30歳位から下の女性アナだけが、バニーガールの格好で踊れと言われました。これは、若い女性をセクシーな格好で踊らせたなら面白い、と考えられた企画でした。しかし、アナウンサーは言葉で情報を伝えるプロだと教育されていたため、私がダンサーやモデルならばともかく、なぜこんなことをやらされるのか当時は分かりませんでした。

その状態に鬱屈した私は、髪を短くして、化粧も一切せず、スウェットにワークパンツで出勤する、と自分なりに反抗していましたが、明らかに仕事が減ってきました。更に、その頃のゴールデンタイムの仕事で、今でいうセクハラを受けたことに嫌な顔をしてプロデューサーから皆の前で怒鳴られたことで、もうアナウンサー的には終わり。この先どうしていけばいいのだろうか、それこそ絶体絶命だと感じた私は、女性上司に相談しました。

その上司が「女性だって優秀でいろんな才能がある人がいるのに、あなたの気持ちはよく分かる。あなたに合う仕事が私が探すわ」と言って、「ラジオっていいわよ。きっと合う



令和2年1月26日(日) 14:00~15:35 大会議室

講師 小島 慶子さん (タレント・エッセイスト)

今年は、小島慶子さんからピンチをチャンスに変えてきた経験をお話いただきました。講演の一部要旨を紹介します。



と思うからやってごらんさい」と勧めてくれました。

25歳の時に、「小島さん、週に4日のラジオの生放送で時事問題や社会問題を討論する番組の司会をしてくれないか」と言われたのです。始めたら、半年で日本の放送業界で一番大きなギャラクシー賞のDJパーソナリティ賞を、個人でもらいました。そこから急に周りの態度が変わり、このあいだまで私のことを怒っていたディレクターまで、「小島はやると思っていた」と言ってきたり…。以来、人の評価なんか気にしなくなりました。

でも、当時からテレビとラジオの両方をやっていて、こちらの私も同じ私なのにおかしいとも思いました。テレビだと生意気とか、出しゃばりすぎと言われ、同じことがラジオでは面白かったと言われる。なぜこんなに評価が違ふのだろうと考えると、一つには若い女性という見た目が邪魔をする気づきました。

その点、ラジオでは見た目は関係なく、話の中身に集中し耳を傾けてくれる。男性アナウンサーなら若くても、服装で生意気とか目立とうとしているとか見た目と言われない。一方テレビでは、若い女は見て楽しむものだから見て当たり前、何かあれば文句をつけて当たり前という考えが強かったんですね。

確かに私の顔はアナウンサーに向いていそうだったと思ったので、使えそうなものは何でも使おうと思ったけれど、だからと言って外見について人から何を言われてもいいとは思いません。とやかく言われる筋合いはないのに人からこんなに言われるのなら、若い女の外見なんていらない、と思いました。これも今思えば「女性は見た目に価値がある」というジェンダーの押し付けに対する怒りでした。でも、そこからラジオでキャリアを築いて活躍することができたので、一度アナウンサーとしてどん底を味わった経験も悪くはなかったと思っています。

私の中にもあった問題

アナウンサー時代はそんな絶体絶命が意外な転機になりましたが、最近では、家族の出来事があります。私は2010年に会社を辞めフリーでやってきましたが、その3年後、夫が「僕も仕事を辞める」と言い出しました。

その時は、こんなときのために経済力を身につけたのだ

から、無職の夫でも全然構わないと思っていました。けれども、目の前に年収も肩書きもゼロの丸腰の男性が出現した途端、稼ぎがあり肩書きがある男性しか尊敬できないと思っていることに気がついてしまいました。長い間、男性と対等な立場で高いお給料を貰っているうちに「稼いでいる人間がえらい」という考えに染まっていたのです。

例えば、働いて帰ってきて、夫が家で子どものお世話をしてくれていても、「ああ今日も1日大変だった、お金を稼ぐって大変、あなたは楽でいいわね」とか、夫が物を欲しがれば「買ってあげる」などと、恩着せがましくしたり。それまで多くの女性がそうやって差別され、ばかにされてきたことに、ずっと腹を立てていたのに。自分が同じことを夫にしていることに気がついて、ショックでした。

これまで、主な働き手は男性で、女性は家庭を支えるものだと言われてきました。経済的な強者が偉いと言われてきた。男性と同じように働いてきた私の中にも、「よりお金を稼いでいる人、肩書きが高い人が偉い」という価値観が刷り込まれていたのです。性別ではなく、立場や役割がそうさせてしまうのですね。

そんな自分を変えたくて、無職の夫を尊敬できる環境を作ろうと思いました。そこで、海外に移住することにしました。両親からパスはとても楽しくきれいなところだったとよく聞かされていたこともあり、自分が生まれた場所に帰り、家族はそこで暮らし、自分が行き来して子どもを育てようとパスに移住を決めました。夫は子どもたちを支え、新しい生活環境を整えました。同じ冒険に乗り出すことで、家族の結束力を強めようとしたのです。それからの6年間、夫は家事をしながら英語の勉強をして新生活を立ち上げ、子どもの世話を頑張ってくれました。この経験を通じて、生まれて初めて年収も肩書きもゼロの男性を尊敬し、この人がいて良かったと思えたのです。夫が無職になり世帯収入も大幅に減って大ピンチ！になりましたが、夫が仕事を辞めたからこそ自分の偏見に気づくことができ、家族の新しいチャレンジができて良かったと思っています。

家事・ケアワーク

を考える

家事は日々の生活を過ごすため誰にとっても必要な労働です。また家族構成によっては、ケアワーク（育児、介護）も必要になります。

日本の、共働き世帯は年々増加しており、仕事と家事やケアワークをどのように両立をさせていくかで悩む人がいます。また晩婚化や出産

年齢の高齢化等、育児と親の介護が重なるダブルケアをこなさなければならない状況に陥る人など様々な困難に直面しています。

家事・ケアワークをどれくらい担わなければならないかによって、収入を得られる仕事につける時間は決まります。

その時間を確保するため、行政や民間のサービスを利用することも一つの方法です。

ここでは、誰もが生きやすい社会に近付いていくために、家事・ケアワークについて考えます。



家事・ケアワークは女性の仕事？



これまで、女性が家事・ケアワークの多くを担ってきました。

その理由として、男性が生活の糧を得るための労働に従事し、女性は家庭内で家事・ケアワークに専念する「固定的性別役割分担」という考え方が私たちの意識に根付いているところが大きいです。この性別役割

分担は、明治時代に、戸主＝家長が家族に対する支配権をもち、長男が親と同居して“嫁”を迎え、家長権と家の財産を継ぐ「家」制度（※注1）がつくられてから広く日本社会に定着していきました。戦後も、高度経済成長の中で、「夫は企業戦士」として外で働いて稼ぐ、「妻は専業主婦」で家を守るというように、性別役割分担が当たり前のことと捉えられ、女性が家族のケアの役割を担っていくようになっていったのです。

※注1 民法 1898(明治31)年施行

参考：ソーレ啓発誌 ぐーちよきばー ひとりでがんばりすぎない介護より

「模範嫁表彰制度」って何？

明治末頃から、舅姑や夫の介護に尽くしてきた女性を「模範嫁」として表彰する制度が実施され、全国各地で盛んに行われるようになりました。高知県でも「長年にわたって老人の介護をし、その献身的な行動が社会一般の規範となるような嫁を表彰し、これを讃え日頃の労苦に報いると共に敬老に対する県民一般の認識を高める。」という目的で、1970（昭和45）年から1993（平成5）年まで、24年もの長い間行われていました（1986（昭和61）年からは「優良介護家族」表彰に名称変更）。この制度により、県内では218名の女性が表彰されています。

表彰を受ける対象（資格者）は「30歳以上は概ね5年以上（中略）寝たきり老人の介護をしている嫁（孫嫁を含む）」「常に強固な意思と信念を持って（中略）寝たきり老人の介護に心身ともに尽くしている模範的な嫁」となっていました。一見、自宅介護を頑張っている女性（嫁）をねぎらい讃えるいい制度のように感じるかもしれませんが、しかし、このような表彰をすることによって、女性は結

婚相手の親族に介護が必要になれば面倒を見ることが当然である、そして以後も介護をし続けていくものであると、性別役割分担意識を更に彼女たちに押し付けることになっていたのかもしれないと考えさせられます。

参考：「模範嫁を訪ねて 介護保険の現代的意味を考える」
(高知女性の会 作成 平成12年度ソーレ女性活動・研究支援事業)

無償労働の存在

家事やケアワークといった、いわゆる無償労働（アンペイド・ワーク）は、家族への愛情によるものであるとか、自分の役割と考えている人も多くいるかもしれません。ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」（※注



2) では、女性主人公が家事代行をすることで受け取っていた報酬19.4万円が、雇い主と結婚することで、報酬はなくなり家事が無償化されてしまうことに疑問を投げかけて話題になりました。有償労働であった家事が家族になることで無償労働に切り替わることになったのです。

そもそも女性は、家事やケアワークをするのが得意だったり、向いているのでしょうか？逆に男性には向いていないということも言えないでしょう。家事の得意・不得意かは、性別は関係なく、個人に由来するものではないでしょうか。しかしながら、いまだに根深く残る固定的性別役割分担の意識は、女性の就業の機会を狭めて、経済的な自立を阻むことにつながっています。

※注2 「逃げるは恥だが役に立つ」…海野つなみ原作。
2016年TBSで放送ドラマ化

家事・ケアワークにおける社会問題

「1億総活躍社会」、「女性活躍推進」が掲げられた、2016（平成28）年に、保育園の入所審査にすべて

通らなかった母親からの怒りの投稿で「保育園落ちた、日本死ね！」がありました。このフレーズは、働きたい母親の置かれている現状を知らせるきっかけになり、国も無視できない状況になりました。そして、現場の保育園で働く保育士から職場環境の待遇改善を求める悲痛な声も上がりました。一方、少子高齢化が進む社会背景の中で、独身の子どもが親の介護をする「娘・息子介護」があります。

保育の必要な幼児や介護を必要とする家族がいる状況で働くためには誰かの助けが必要です。

ジェンダー平等社会の実現のカギは、家事・ケアワーク

子どもの頃にした、ままごとやごっこ遊びなどの体験を振り返ってみると、家事やケアワークを疑似経験する入り口になっていたように思います。私たちは成長過程でいろいろなものを見たり経験をしてきた中で「女はこうあるべき、男はこうあるべき」というステレオタイプのが感覚が身に付き、固定的性別役割分担意識に囚われています。

ジェンダーの視点をもって見ると、性別による役割分担が実は文化や社会が作りだしているということに気が付いてきませんか。

これからは、家事・ケアワークを性別や世代に関係なく、自分の事として考えられる社会を目指していくことが私たちに求められています。



＊ ＊ ＊
この記事の
関連冊子



ぐーちょきぱー Vol.7
ひとりでもがんばりすぎない介護



模範嫁を訪ねて
介護保険の現代的意味を考える

\\ ちゃおっ / いろいろ 聞いCHAO! 「よそんく(国)」 どうなっちゃう?



今回は、2017年8月から高知県庁国際交流課で国際交流員として勤務されているシンガポール出身のテオ・フィ・イン・ヴァレリーさんです。シンガポールのGGI(ジェンダーギャップ指数)は153ヶ国中54位、日本は121位です。

Q. シンガポールについて教えてください。



面積は高知県の10分の1です。常夏の気候ですが、日本の夏より涼しくとても住みやすいです。国土が狭いため、家賃や自動車の所有に高い税金がかかる一方、貿易が盛んなため食べ物などの物価は安いです。言語は英語を共通語とした4ヶ国語が使われ、多民族国家として互いの文化を尊重し合っています。

Q. 高知に来たきっかけは?

日本語のイントネーションの響きが美しいと感じ、中学生の頃から姉と二人で日本語の独学をしてきました。以降、身に付けた日本語力を職業レベルで活用したいと思い、自治体国際化協会の事業に応募した結果、高知に派遣されました。

Q. シンガポールと高知の違いや似ていると感じたことを教えてください。

シンガポールでは車の所有に高い税金がかかるため個人での車の所有率は低いですが、高知では県民の多くが一人一台車を所有していることに違いを感じました。気候で言えば、女性のメイクは落ちやすいので日本ほどメイクに時間をかける人は多くありませんが、シンガポールと高知にはそれほど違いがないように思います。高知での7月上旬の気候が年中続いていることくらいでしょうか。皆で楽しく過ごすことが好きというところは、お互いよく似ていると思います。

Q. 教育について教えてください。

シンガポールは独立するにあたって、優先的に国民の教育に力を入れてきました。国土の少ないシンガポールの政府にとっての最大の財産は国民だからです。結果、小さい国ですが国民は他の国に負けない学力を身に着けることが出来ました。

大学院への進学は、男性は理工学やビジネスの分野が多く、教育や情報科学の分野では女性が圧倒的に多いです。

Q. 働き方について教えてください。

シンガポールでは、ピアノや日本語を教えたり、旅行会社でガイドをしたりと、ずっとフリーランスで働いていました。統計では仕事の評価に男女で差があるとの結果も出てはいますが、フリーランスが多いため、実力さえあれば飛躍できるチャンスが多いと思います。日本では、フリーランスに対して否定的な面も多く言われますが、シンガポールではポジティブな印象です。性別による職種の違いはあまりありませんが人種による違いがあり、中華系はサラリーマン、マレー系はサービス業、インド系は警備業務などといった傾向があり、偏見もあります。

男性には高校卒業から大学入学前まで兵役の義務があるため、女性の方が早く社会に出ます。また、個人の収入は仕事の成果に応じたものを得る場合がほとんどです。経験年数は加味されますが、年齢は影響ありません。転職のイメージも違います。シンガポールでは、3~4年毎に転職して経験を積んでからの方が良い評価となり、新しい仕事に入りやすいです。日本には4月に、新卒一括就職という形がありますが、シンガポールにはありません。私は、高校を卒業後、2年間働いてから大学に入りました。その自由が大事だと思います。日本の男性は出世が早い印象を持っていましたが、高知ではあまり差を感じません。「はちきん」だからでしょうか。

Q. 政治について教えてください。

2016年に女性のハリマ・ヤコブさんがシンガポール初の女性大統領となりました。選挙権は21歳からで、投票しなかった場合は、今後の投票禁止や政治への参入禁止などのペナルティが発生します。もし、やむを得ず投票できなかった場合は、その理由を申告するか、50ドルの罰金を支払うことで免除されます。他の罰金に比べれば安いです。若い人は政治に関心がありません。

シンガポールは、政府による規制やコントロールが強いですが、日常生活に不自由は感じません。すべての国民が納得できる国づくりをしていると思います。

Q. 女らしさ、男らしさなどについて聞かせてください。

個人で好きなようにすべきだと思います。

例えば、女性も男性も胡座をかくのが普通だし、食事は割り勘です。男性が生きづらいということもあまりないと思います。スカートの時に母から足を閉じるよう言われたことはありますが、性差別的な強制はありません。

Q. 最後に一言お願いします。

英語でこういう言葉があります。

Most people live as if they were never going to die, and die as if they had never lived.

(殆どの人は死ぬことはないかのように生き、そして、生きたことがないように死ぬ)

私自身は、毎日を大切に悔いのない人生を歩んでいきたいと思っています。日本に来てから、三味線や硬筆などの日本文化を学び、運動にも力を入れています。これからも高知で働きながら精一杯生きていきたいです。

講座のご案内



託児付き(6か月～小学3年生まで・予約制)
就学前児童は無料。小学生は1家族500円。



受講料無料

男女共同参画推進月間講演会

無料



男の家事が社会を変える!?

～笑って考えよう、仕事のこと、
家庭のこと、未来のこと～

赤ちゃん・お子さん
連れ大歓迎!

高度経済成長期の家族モデルにまだにとらわれている日本社会。変えていくためには、男性の生き方を考えることが重要です。
ジェンダー論の第一人者である講師が笑いを交えて熱く語ります。

日時 6月6日(土)
13:30～15:30(開場13:00)

講師 瀬地山 角(東京大学教授)

参加費 無料

定員 150名(予約優先)

※託児(先着順・定員有)もありますが、
お子さんと一緒に参加できます。

申込 電話またはHP申込フォームにて
受付中



3日で学ぶ! パソコン講座

※オフィス2019を使用



(ワード基礎)

日時 ①6月13日(土)～15日(月)
②6月20日(土)～22日(月)
各日10:00～16:00

申込 5月11日(月)9時～電話にて
※①又は②のどちらかを選択してください。

(エクセル基礎)

日時 ①7月11日(土)～13日(月)
②7月18日(土)～20日(月)
各日10:00～16:00

申込 6月8日(月)9時～電話にて
※①又は②のどちらかを選択してください。



<両講座とも>

基礎から学びたい方におすすり! 毎年好評の分かりやすい講座です。就職やスキルアップのための新しい一歩を踏み出したいあなたを応援します。

講師 竹島 由香(NPO法人とさはちきんねっと)

参加費 4,000円(テキスト代1,000円込み、初回にお支払い)

対象 就職活動中または仕事をしている20～50代の女性でマウス操作と文字入力ができる方

定員 各10名(先着順) ※過去に同一講座を受講していない方
母子家庭の方はひとり親家庭等就業・自立支援センター
☎875-2500(日・祝休み)へお申し込みください。

こころを読み解くコラージュ講座



雑誌やパンフレットから気になるものを切り抜き台紙に貼っていく。自由に表現したコラージュからわたしへのメッセージを読み解き、自己理解へつなげていきましょう。



日時 5月17日(日)10:00～16:00

講師 大前 玲子(大阪大学非常勤講師・阪神WARA心理教育研究所)

参加費 1,000円 対象 女性 定員 20名(先着順)

持ち物 切り抜いてもよい雑誌・パンフレット2～3冊、のり、はさみ

申込 4月6日(月)9時～電話またはHP申込フォームにて

もう?まだ?早すぎない! 今からはじめる性教育



自分の身を守るためにも役立つ性の話を、お子さんに分かりやすく楽しく伝える方法を学びます。



日時 5月23日(土)10:00～11:30

講師 川野 なおこ(とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会)

参加費 500円

対象 乳幼児を持つ保護者

定員 30名(先着順)※6か月未満のお子さんは一緒に受講できます

申込 4月10日(金)9時～電話またはHP申込フォームにて

ジェンダーカフェ 「身近なジェンダー問題をまじめに語る」

[全10回]

無料



それぞれの講師が語るジェンダーに関する課題について語り合います。気軽に雰囲気テーマを掘り下げるカフェです。



日時 5月31日、6月7日、6月21日、7月19日、8月30日
以降HPで公開(すべて日曜日)10:00～12:00

講師 加藤 伊都子、森田 美佐、佐藤 洋子、河野 和代、金香百合

参加費 無料 対象 どなたでも 定員 20名(先着順)

申込 5月7日(木)9時～電話にて

女性防災プロジェクト 「私たちが防災と減災と、その先を考える」

[全5回]

無料



減災や災害時看護の問題に取り組む講師から、被災した後に私たちに何ができるのかを学びます。



日時 6月14日、7月19日、9月20日、10月25日、11月は後日決定
(すべて日曜日)13:30～16:30

講師 神原 咲子(高知県立大学大学院 災害・国際看護学教授)

参加費 無料

対象 防災に関心があり、このプロジェクトに初めて参加される方
(全回参加可能な方を優先)

定員 20名(先着順)

申込 5月9日(土)9時～電話またはHP申込フォームにて

「女性リーダー応援塾」 『私』を発見!“やりたい”を実現する!!

[全3回]

無料



曖昧な思いを言葉にし、多様な人たちの中で磨きながら行動に変えていく講座です。出会いを楽しみながら力をつけませんか?



日時 7月12日、9月13日、10月11日 (すべて日曜日)13:00～16:00

講師 川村 晶子(高知大学次世代地域創造センター客員准教授)

対象 働き続けることを前提にスキルアップを希望する方

参加費 無料 定員 30名(先着順)

申込 4月15日(水)9時～電話またはHP申込フォームにて

No!



4月はAV出演強要・「JKビジネス」等被害防止月間です!!

新生活がスタートする人の多いこの時期に、思いがけないトラブルに巻き込まれないために知っておいてください。

「その契約、大丈夫？」

知っていますか？
AV出演強要問題



「そのアルバイト、大丈夫？」

知っていますか？
「JKビジネス」問題



「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられた。
「高収入アルバイト」に応募した。

その後、聞いていない・同意していない、性的な行為等の「写真」や「動画」の撮影をされるなど、若い女性が性的な暴力の被害を受ける問題が発生しています。

若年層を対象とした性的な暴力の啓発・内閣府男女共同参画局のQRコードです。ひとりで悩まないで、相談機関につながる事ができるように情報提供をしています。



募集のご案内

ソーレいど事業

県内の非営利団体・グループが男女共同参画推進のために実施する講座や講演会、調査研究等の費用を選考のうえ助成します。男性と子どもの生活力アップ、女性の就労や働き続けることへの支援、ワーク・ライフ・バランスなど男女共同参画を進める事業をしてみませんか。

<対象団体と助成額>

- 対象は県内を拠点として活動している非営利団体で政治、宗教を主たる目的としていない団体
- 1団体20万円を上限に対象経費の8割以内を助成

募集期間 5月1日(金)～6月20日(土)17:00必着

事業実施期間 8月1日(土)～令和3年2月28日(日)

選考日程 7月4日(土)予定

応募方法

募集要項はソーレ1階受付にて配布中。ホームページからもダウンロードできます。ソーレ受付へ持参または郵送にて必要書類を提出してください。※詳細はチラシ等でご確認ください。

県民からの企画提案事業

男女共同参画推進のための講演会や講座等の事業を企画・実施する県内の団体や個人を募集します。



<募集内容と委託料>

- 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みや女性問題の解決を主たる目的とすることをテーマとした内容
- 委託料 高知市内で実施するもの 10万円以内
高知市以外で実施するもの 15万円以内

●詳しくは、ホームページをご覧ください。

●お問い合わせは、電話(088)873-9100まで

メールマガジン「FROMソーレ」

購読無料!

講座情報を定期的にお届けします。



登録はこちらから！
規約に同意して登録を選択後、空メールを送ってください。

施設利用のご案内



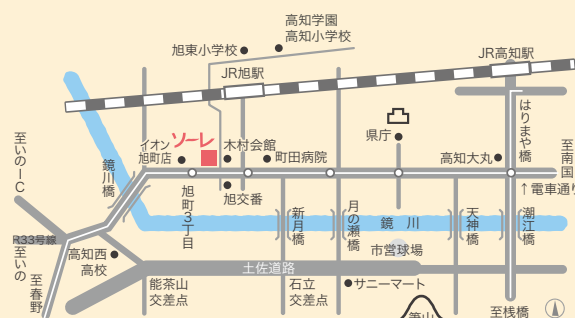
- 貸室利用時間
9:00～21:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
- 休館日
第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日～1月3日
- 図書・情報資料室
9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)
※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで
- 相談室
9:00～12:00、13:00～17:00
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見などお寄せください。お待ちしております。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <http://www.sole-kochi.or.jp>
- Facebook こうち男女共同参画センター「ソーレ」

発行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 発行日 令和2年4月10日



- 所在地
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車…「旭町3丁目」下車100m
バス…「旭町3丁目」下車50～200m
JR…「旭駅」下車400m

駐車スペースが少ないため公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。